

五領地区連合

自治会だより

第37号

平成31年3月25日

発行所

五領地区連合自治会

高槻市全域大防災訓練 五領小で避難所運営訓練

本年二月十日午前十時

から、高槻市全域大防災

訓練を、五領小学校でも行

いました。三面にフォト構成

今回は、上田博夫会長の

実施報告を、掲載すると

共に、五領地区防災会の

規約や避難所運営マニユ

アルの取り組みを紹介し

ます。

実施報告

五領地区防災会

会長 上田博夫

時折小雪のちらつく寒

い日にも関わらず、防災

訓練には男性一二五人

女性一四六人、計二七一

人という多数の避難者参

加を頂き、災害に対する

強い危機意識がもたれて



先生と一緒に避難所運営マニュアルづくりが行われました

きていると強く感じまし

た。

今回は新たに作成した

五領地区避難所運営マ

ニユアルに基づき、五

領小学校において、①受

付&避難者誘導訓練②避

難所環境整備訓練③非常

食炊出し&配膳訓練④援

助物資配布訓練⑤情報収

防災会規約を施行

避難所運営マニュアルも作成

五領地区防災会では、

地区の防災活動を進めて

いくために、五領地区防

災会規約を平成31年1月

1日付で施行していま

す。規約は、18条からなっ

ており、第1条では、「本

会は、五領地区コミュニ

ティにおける住民等が、

連帯共同の精神に基づく

自主的な防災活動を行う

ことにより、災害情報の

収集伝達、各自治会の活

動支援、避難所開設時の

集・伝達訓練⑥要援護者

支援訓練6つの実証訓練

を行いました。

また、地域住民と市職

員の五領方面隊の方々、

地域の介護福祉施設「和

朗園」殿やイオン高槻店

殿との連携を確認する防

災訓練でもありました。

方面隊の方と「コング

グループを組み、瞬時に情

報共有出来たこと、介護

士の方から車椅子使用時

の注意点の指導を受けた

こと、イオン高槻店殿の

防災関連商品の展示では

多くの方に興味深く見て

頂けたことなど、地域と

行政、福祉施設、企業と

の連携が築けました。

また、各訓練では多くの

の成果と、三五件の課題

が抽出され、今後活か

せる有意義な防災訓練と

なりました。

寒い中、避難者として

参加して頂いた方をはじめ

め、スタッフの皆様にご深

く感謝し御礼申し上げます。

た。今回の防災訓練はマ

ニユアルの検証訓練でも

ありましたが、三十五件

の課題が抽出されたこと

は大きな成果でした。こ

れらの課題は原因/改善

策を取りまとめ、三月末

を目途に改善処置を進め

ます。

喫緊の課題はリーダー

育成です。この書面を借

りまして、五領地区防災

会に入って活動したい

という方を募集します。

やってみたいという方は

自治会長を通じてご連絡

ください。

平成30年度の行事

平成三十年年度連合自治会の主な行事と取り組みを紹介いたします。

定期総会

昨年五月十三日「第34回五領地区連合自治会定期総会」が開催され、平成二十九年度の事業報告、同決算報告並びに監査報告が行われました。役員改選では、前年度に引き続き、会長に上田博夫、副会長に清田芳博、谷川秀次、長谷川良隆、

社会見学

今年度は、大阪北部地震、西日本集中豪雨など、自然災害から私達の命、暮らしをいかに守るかを改めて考えさせる年となりました。

五領地域を流れる淀川は、緑豊かな美しい景観を与え、飲料水、農業水の源となっていますが、同時に、大きな洪水等の災害リスクを併せ持っています。本年度の社会見学は、私達の暮らしとかわり

事務局長に柳田元、会計に北浦寿の各氏が選任され、顧問に高須賀嘉章、参与に前田利夫の両氏が就任しました。

その後、平成三十年度の事業計画案、同予算案が提案され、高槻市全域防災訓練の実施、防犯活動・環境美化活動の推進、五領ふるさと祭り、健康づくり活動、文化展といった計画を審議し、採択しました。

夏まつり

「第二十二回五領ふるさと祭り」が、七月二十八日五領小学校グラウンドで行うこととなり「緑豊かな五領のまちへあふれる笑顔！つながる心！」を合言葉に準備を進めてきましたが、台風の襲来で中止されました。



の深い淀川、その上流の琵琶湖、滋賀県の知見を高めようと企画されました。題して「水―私たちの暮らしを支え、守る琵琶湖、滋賀県をもっと知

と祭り」が、七月二十八日五領小学校グラウンドで行うこととなり「緑豊かな五領のまちへあふれる笑顔！つながる心！」を合言葉に準備を進めてきましたが、台風の襲来で中止されました。準備をいただいた、出場の皆様、役員の皆様、大変有り難うございました。一方、本年度も、単位自治会では、盆踊り・夏祭りが行われ、淀の原と、エンゼルハイム自治会にはふるさと祭りの飲み物を有償活用して頂きました。

主な見学先は、淀川の水位を調整し、飲料水等の確保と、豪雨時の治水を司る「南郷洗い堰」。琵琶湖のほとり「植物と人、水と人のふれあい」がテーマ、ハスで有名な「草津水生植物園 みずの森」。豊臣秀次の城下町、近江商人発祥の地、水郷で有名な「近江八幡市内散策」。のほか、「ラコリーナ」琵琶湖大橋「道の駅」を訪れました。参加者は九十五名でした。

五領文化展

第二十九回「五領文化展」(五領公民館との共催)が、三月二、三日にわたり、五領公民館で開催され、濱田市長、市民



会議議長など、多くの観賞者でにぎわいました。展示作品は、☆五領書道サークル☆淀の原シニア写真部☆遊彩会絵画、☆五領陶芸サークル☆淀の原シニア書道部



☆有蘭書道教室☆京華ペシ習字教室☆水墨画サークル☆五領地区シニアクラブ連合会☆クラフトあみあみサークル☆新婦人☆フラワーアレンジメント☆淀の原パッチワーク、そして五領中、五領小、上牧小、五領幼稚園、上牧幼稚園の出品がありました。また、五領中学校3年生・吉本優真君の車模型の展示とプレゼン、よし笛サークルによる「五領村歌」などの演奏がありました。

大阪北部地震後の取り組み

義援金活動

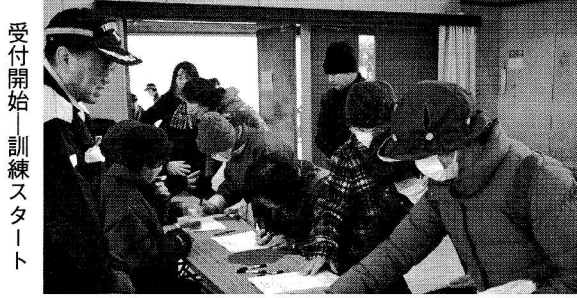
大阪北部地震が起き、自治会としても義援金を送ろうとの意見が出され、ふるさと祭り会場での義援金と自治会で募った義援金を合わせて、被災地に送ることを決定し、祭り前日までに、7自治会から義援金を受

領していました。台風接近により、祭りが中止となったことから、8月末日までに、残りの自治会に協力を依頼。合算した金額を、9月19日に日赤大阪支部を通じて、被災者の方々(大阪府北部地震災害、7月豪雨災害)に届けていただくこととなりました。

一斉校区点検

大阪北部地震では、高槻の児童が被災しました。高槻市PTAでは、こうした事態を踏まえ、子どもたちが、夏休み明けの新学期を迎えるまでに、通学路における危険箇所を把握し、市の協力を得て、早急に対策に取り組

むこととなりました。これを受け、高槻市コミュニティ市民会議でも、全市上げての全面的な協力を打ち出しました。そして、7月27日、五領地区連合自治会でも、一斉校区点検日として、子どもたちの安全確保のために、パトロールの協力をしました。



受付開始—訓練スタート



訓練の前に、方面隊と打ち合わせ



フォト構成

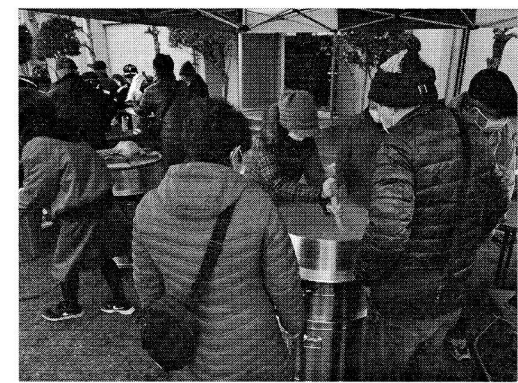
五領地区、一丸となつて
市防災訓練に取り組む



炊き出し場所の設営風景



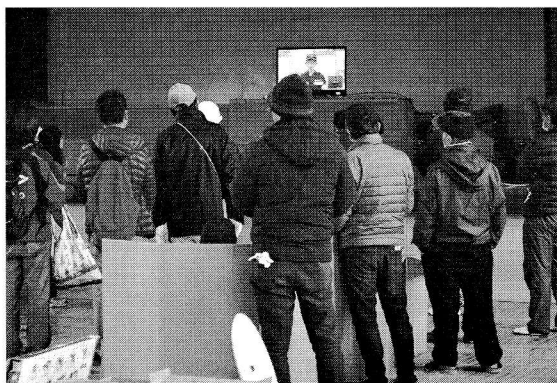
〔写真上〕 みんなで避難場所の設営
〔写真右〕 車椅子体験
〔写真下〕 給水タンクの組み立て
(ダンボールベットや簡易トイレの組み立ても体験)



非常食の炊き出し開始



避難所風景 300食分のトン汁も完食



高槻市長の講評があり、終了

防犯活動

平成三〇年度の防犯活動を紹介します。

▼防犯委員研修

九月十九日、防犯委員研修会が、高槻市現代劇場で行われ大阪府警察本部サイバー犯罪対策課、福山剛志警部から「最近のサイバー犯罪の傾向と対策について」と題し講演があり代表が参加しました。

講演内容は、①現状(16億件、毎日漏えい)②安全なパスワードの作成

③適切なパスワードの保管方法④その他のセキュリティ対策でした。

▼全国地域安全運動の実施

十月十二日「全国地域

日赤の活動

▼献血活動に協力

地域献血を九月十五日、金光大阪中学校・高等学校及び六月二十日、十一月二十五日、イオン高槻店に献血車を迎え献血推進活動に協力しました。そして、阪急高槻市駅ミング前での献血では街頭広報として、ティッ



血液センター」を訪問。献血された血液が製剤作業室で「赤血球製剤」「血小板製剤」などに

▼献血推進員研修会

茨木市彩都にある「日本赤十字社近畿ブロック血液センター」を訪問。

シユ配布による啓発活動を行いました。



本年のサブスローガンは、特殊詐欺では「その電話、本当にあなたの息子さん?」「キヤッシュカードは渡さない、暗証番号は教えない」。

分難される工程の見学や説明を受けました。患者さんに届けられる血液は、高度な設備と清潔な環境下で製剤されることが理解出来、献血活動に携わる意義と重要性を再認識した研修となりました。

▼社資募集の報告

本年度も各自治会のご協力により六十一万八千八百二十八円集まりました。

▼歳末防犯警戒

各自治会を拠点に、十二月二十九日、三十日を中心に、歳末防犯警戒が実施されました。中心拠点の五領公民館には、二十九日、高槻市、高槻警察署、防犯協議役員の激励の訪問がありました。

親子カーニバル

十一月三日、五領中学校で記念すべき「第32回親子カーニバル」が行われ

健康増進

▼秋の調理実習会

健康づくり推進リーダーの活動として、「栄養講座」を行っています。今年度は「秋の調理実習会」が、十月四日、五領公民館料理実習室で行われ26名が参加しました。

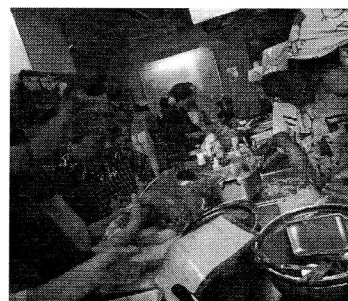
講座テーマは、「深まる秋、学ぼう、楽しもう調理実習」。

秋の季節を楽しむ調理実習となりました。管理



ました。飲食、ゲーム、ワークショップの各コーナーでは、工夫を凝らした出店にぎわいました。連合模擬店として綿菓子販売し大人気でした。ステージを設置しての「青空コンサート」では、吹奏楽、ダンスなどが発表され、大道芸人のMr.オクチのショータイムは、大

栄養士からの、講座の後全員で、調理を行い食事。献立のメニューは、豚肉と高野豆腐のロール巻き、サツマイモのみぞれ酢なめとろ汁、ご飯で、一



人分の栄養量は、五四五キロカロリーでした。

▼出前健康講座

健康推進リーダーの取り組みで、健康を維持するための活動として、出前健康講座も企画され、5月22日に東上牧自治会館で「輝くワタシ講座および全身リラククス体操」をテーマに、セラピストによる、心と身体の健康講座を実施し、60歳以上の女性29名が参加しました。

ホワイトコンサート

人も子どもも楽しめるものとなりました。



「第十七回ホワイトコンサート」音でつながらる五領の絆―きずな―をテーマに十二月二十三日、金光大阪中学校・高等学校体育館で盛大に開催されました。迫力あるチャリ

表彰

九月二十四日、高槻市コミュニティ市民会議リーダー研修会第二部で、コミュニティ活動に尽力され、退任された塩見勝弥、野々上憲治の両氏が退任表彰をうけました。